

研究種目：若手研究（B）
研究期間：2007～2010
課題番号：19720069
研究課題名（和文） アメリカ中学高校教科書におけるマーク・トウェイン その改変と自己検閲の系譜
研究課題名（英文） Mark Twain in American School Textbooks - The Transformation and the Self-Censorship
研究代表者
石原 剛（ISHIHARA TSUYOSHI）
早稲田大学・教育・総合科学学術院・准教授
研究者番号：00368185

研究分野：アメリカ文学
科研費の分科・細目：文学・英米・英語圏文学
キーワード：マーク・トウェイン、教科書、教育、文学、検閲

1. 研究計画の概要

アメリカ中学高校教科書におけるトウェインへの言及とトウェイン作品の使用状況の調査分析。調査対象となる時代は、1870～1990 年代。

2. 研究の進捗状況

2 年間に及ぶ米国議会図書館での資料収集により、1870 年代から 1960 年代までのほぼ 100 年間の教科書資料を入手することができた。1970 年代以降の教科書については、議会図書館よりむしろ全米の小規模の公立図書館に所蔵されていることが多く、収集がやや難航している。そこで、1970 年代以降の教科書資料の収集については一時棚上げし、これまで集めた 1960 年代以前の教科書資料の分類・整理、書誌作成、内容分析に研究の重点を移した。特に、3 年目の 2009 年度はトウェインの生前（1910 年まで）に出版された教科書を中心に、トウェイン作品の利用状況の分析を行った。

その結果、当初、予想していたよりもかなり早い段階からトウェインがユーモリスト、ないしはアメリカを象徴する作家としてアメリカの中高の教科書で利用・紹介されていたことが明らかになった。特に、トウェイン作品の教科書の初採用は 1870 年代という極めて早い時期であり、厳密には『トム・ソーヤ』や『ハック・フィン』、『王子と乞食』といった長編小説を発表する以前の採用であることが分かった。この発見によって同時代のトウェイン評価が、教育の分

野においても、必ずしも小説に立脚するものではなかったことが明らかになった。また、19 世紀を代表する著名な教科書において、今日のトウェインの代表作が厳しく批判されていることなどから、中高の教育現場における不安定なトウェイン評価の一端を垣間見ることができた。

全体の特徴としては、辛辣な社会批評家としての側面が徹底的に無視される代わりに、ユーモア、動物関連の描写、また西部やミシシッピ川に関する文章などアメリカ性を如実に想起させる作品が生前の教科書には主に採用されていた事実も明らかになった。

これらの成果は、ニューヨーク州エルマイラ市で開催された第 6 回国際マーク・トウェイン学会と日本児童文学学会例会などで発表し、幸いにも参加者の高い関心を得ることができた。また 2010 年 3 月には審査付の学術雑誌に英語論文として掲載された。

さらに 2008 年に出版した単著『マーク・トウェインと日本』第 7 章の日米教科書におけるトウェインの利用状況の比較論にも本研究の成果は反映されている。

3. 現在までの達成度

やや遅れている。

理由：2008 年に研究書『マーク・トウェインと日本』（単著 366 頁）の執筆に時間を取られたため。1970 年代以降の資料が散在しており、効率的に資料収集を進められなかったため。『マーク・ト

ウェイン事典』(仮題)の編集、週一回の新聞連載、大学の学部執行部の仕事に相当な時間を割かなくてはならなかったため。

4. 今後の研究の推進方策

これ以上散在した資料の収集に時間をかけることは得策ではないので、収集済みの資料の分析、特に 1910 年代以降を中心に進める。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計1件)

Tsuyoshi Ishihara, "Mark Twain in American School Textbooks, 1875-1910" 『早稲田教育評論』24巻1号、2010年、79-92、査読あり

[学会発表](計2件)

! 石原剛「アメリカ学校教科書におけるマーク・トウェイン 19世紀後半を中心に」日本児童文学学会例会、2009年9月12日、東京

Tsuyoshi Ishihara, "Mark Twain in American School Textbooks, 1875-1910" The 6th International Conference on The State of Mark Twain Studies, August 7th, 2009. ニューヨーク州、エルマイラ市

[図書](計1件)

石原剛『マーク・トウェインと日本』彩流社、2008年、366頁。